

12月30日(月)

## ファッションの流行

聖書朗読 詩篇04：1～6

主がわたしに、救いの衣を着せ、正義の外套をまとうせ・・・イザヤ61：10

ファッションの流行はメディア、デザイナー、文化と金によって左右されます。しかし自分の家庭の中で育つ時、私たちのファッションの流行は、両親から子どもである私たちへの、深い思いやりのある愛によって育まれました。母はおしみにく時間を使って娘たちや息子である私たちのために、工夫を凝らした美しい洋服をミシンで縫ってくれました。私たち三人は洋服を自分で買ったことはありませんでした。両親はどちらも、私たちが当時理解できなかった方法で犠牲を払い、私たちが良い服を着られるようにしてくれたのです。

基本的なクリスチャンのファッションは決して変わりません。創造主は、完全な愛と理解によって私たちに必要な洋服を備えて下さいます。主は服を作られ、それを着るかどうかの選択は子どもたちに任せます。

今日を、靈的に主イエス・キリストを自分に着せることのできる日だと考えてみてください。イエス様の憐れみと謙遜、主の（血によって洗われた）救いの衣と主の正義の外套を身に着けるのです。それらは目に見えない、聖なる衣服です。

クリスチャンは神様の人格のモデルとなりますが、私たちにはそれらを作り出すことはできません。私たちの天のお父様が作ってくださるのです。

讃美歌 II 173

祈り アバ、お父様、あなたがご自身の衣服を私に着せてくださるがゆえに、あなたを讃えます。主よ、あなたが何で私を覆ってくださったかを考えることで、私がますますあなたのようなことができますように。私を見る人にあなたの聖さを見せてください。私の罪深さを赦してくださったことに感謝します。

イエス様の御名によって。

アーメン

ベバリー・ブレットソー  
テキサス州 アマリロ

## 今日のカ

2019年12月30日～2020年1月5日

翻訳 鈴木慈久

編集 野口 恵美子

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

12月31日(火)

## 私の足のともしび

聖書朗読 詩篇119:105~112

あなたのみことばは、私の足のともしび、私の道の光です。詩編119:105

人生の初めのうちは、人はふつうすべての疑問にすべての答えを持っています。人は、洞察力を持って、疑問の余地のない明瞭な明るい光の中で一步を踏み出します。箴言の賢い人はそのような時期のことを覚えていたのかもしれませんが。「愚か者は自分の道を正しいと思う。しかし知恵のある者は忠告を聞き入れる。」(箴言12:15)

しかし人生の道を進むにつれ、はじめのころの自信は、しばしば闇の中を進んでいく心配と恐怖に変わっていきます。よく知られている教師の言葉を、忠告として出しておきましょう。「私たちはヘッドライトが届くところまでしか見えないが、それでも最後まで旅をすることができる。」

この心からの言葉は、今日の聖書箇所と対になっていて、私たちに大いなる保証を与えてくれます。ともしびは神様の言葉です。詩篇著者は、ほんの小さな範囲しか照らすことのできない地味なオイルランプを考えていたのでしょうか。それでも、そのともしびは次の一步を踏み出すのに十分だったのです。

ともしびをしっかり持ち続け、それが明らかにするものに注意しましょう。その次の一步はいつかあの場所へと続いていくでしょう。「・・・もはや夜がない。神である主が彼らを照らされるので、彼らにはともしびの光も太陽の光もいらない。彼らは永遠に王である。」(黙示録22:5)

讚美歌 あなたのみことばは (Thy Word)

祈り 私たちの天のお父様。日々の感謝を通じて、私たちは御言葉のともしびのゆえにあなたに感謝します。私たちがあなたの導きに従い続けて、もはや闇のないあなたの臨在へと向かっていくことができますように。

イエス様の御名により。アーメン

クリス・フリーゼル  
テキサス州グランベリー

1月1日(水)

## いつでも信頼できる

聖書朗読 詩篇145:13~21

あなたの真実は代々に至ります。

詩篇119:90

電話が鳴ります。私はかつては喜んで出ていました。しかし今は仮に出るとしても、注意深く出ます。予期せぬ電話、あるいは知らない番号はすぐに私の猜疑心を掻き立てて、それが私に何かを警告して有料の解決法、すなわちクレジットカードや抵当、所得税といった普通の話題に見えるものを勧めようとする、非合法の録音電話ではないかと思わせます。少なくとも私の住んでいる地域では最近、そういった種類の電話の数が急増しているように思うのです。私は電話に出ることをためらい、進んで出たいと思えなくなりました。私にはもう電話が信用できないのです。

しかしながら、詩篇の著書はある種のコミュニケーションは、常に信頼できるものと述べています。「あなたの統治は、代々限りなく続きます」(詩篇145:13)。

(訳注:英語の聖書NIV訳ではこの箇所「主はあらゆる約束を果たされる」という意味の文章がありますが、写本の相違のため新改訳・口語訳・新共同訳のどれにおいても訳出されていないようです)そして主を恐れる者に「彼らの叫びを聞いて、救われる」(詩篇145:19)。私たちが神様に助けを求めるとき、神様はいつも聞いていてくださいます。神様の御言葉に見られる約束は、常に信頼できます。私たちは、神様がいつも私たちのことを気にかけてくださっていることを知ることができます。

人々はしばしば、私たちを失望させます。しきたりは私たちをがっかりさせます。自分の物である電話ですら、ロボコール(訳注:録音された音声による営業電話等のこと)を取り次ぐことで、私たちを裏切ります。しかし神様はそうではありません。神様はいつでも信頼できます。いつでも聞いていてくださいます。いつでも誠実です。

讚美歌 291

祈り 天にいますお父様、あなたが私たちの信頼に応えてくださる方であることを感謝します。あてにならない世界の中で、あなたが確かなものでいてくださることに感謝します。あなたが私たちの祈りを聞いてくださり、ご自身の約束を守られるので、私たちはあなたを讚美します。イエス様の御名により。アーメン

ジョシュ・ボイド  
インディアナ州ラファイエット

1月2日(木)

## 神様の学校

聖書朗読 箴言1:1~7

あなたがたが私から学び、受け、聞き、また見たことを実行しなさい。そうすれば、平和の神があなたがたとともにいてくださいます。ピリピ4:9

幼稚園の最初の一日を終えた一人の男の子が家に帰ってきて、お父さんがその子にどうだったか尋ねました。男の子は答えました、「あんまりよくなかったよ、明日も行かなくちゃいけないよね」と。

私たちは誰でも勉強をするために学校に行ってきたので、この男の子の返答を理解することができます。

しかし私たちが神様から学ぶことは、天と地の神様とその御子イエス様によって導かれます。神様の教えは同時に聖霊によっても支えられています。

聖書がこう言っている通りです。「主イエスの、神としての御力は、いのちと敬虔に関するすべてのことを私たちに与えるからです。」(IIペテロ1:3)

私たちはまた、「神は、みこころのままに、あなたがたのうちに働いて」(ピリピ2:13) くださるので、「恐れおののいて自分の救いを達成」(ピリピ2:12) しようとしています。

そして私たちは、「心の一新によって自分を変えなさい。」(ローマ12:2) と言われています。

私たちの日曜朝の礼拝の時間は、私たちがそれぞれの内で、神様の働きに関する同じ経験を共有していることを気づかせてくれる時間でもあるのです。

讃美歌 280

祈り 親愛なる主よ、私たちが宇宙を統べる神様を礼拝しているということを喜び認めるだけでなく、私たちのあなたとの関係性を実現して下さった、イエス様の死としいたげとよみがえりに思いを向けることができるようにしてください。

イエス様の御名により。アーメン

グレン・オース  
オレゴン州ポートランド

1月3日(金)

## とても心地よい眠り

聖書朗読 箴言3:21~26

あなたが横たわるとき、あなたに恐れはない。休むとき、眠りは、こちよ。箴言3:24

眠れない夜を過ごしたことはありますか？ 私はインドで、私に何か違法なことをさせようとした男に対して賢くない対応をした後の夜を思い出します。満員電車に乗ったとき、私は自分の財布をすられたように感じました。そして、そのときその男が私を闇市の両替所に連れて行こうとしていたのです。彼はより高いレートで取引できましたが、それは彼がすりの一味だったからです。彼はしつこかったので、私は平静さを失いました。

その夜、私は眠れませんでした。神様に、もう一度その男に会って、イエス様のことを話す機会を与えてくださるように祈りました。神様は私の祈りを聞かれ、二日後に願いを聞き入れてくれました。その夜、私は心地よく眠りました。

いろいろなことが、あなたの眠りを妨げ、あなたから睡眠を奪います。しかし今日の聖書箇所では賢者は、すぐれた知性と思慮は真の利益を生み出すと語っています。間違いから正しさを知り、正しい道を選ぶことは、安定性と、恐怖からの自由と、心地よい平和な眠りへと導いてくれます。

讃美歌 295

祈り 親愛なる主よ、私たちがあなたの道を歩き、夜には正しい良心と共に床に着き、平安な休息を楽しむことができるように、知性と思慮を与えてください。イエス様の御名により。アーメン

ラリー・ブランナム  
アーカンソー州スプリングデール

1月4日(土)

## 誠実さの代償

聖書朗読 箴言19:1~4

誠実と正しさが私を保ちますように。私はあなたを待ち望んでいます。

詩篇25:21

私は歳を取るにつれ、私を本当に愛し、気にかけてくれる人たちの賢明な助言に耳を傾けることができるようになりました。その人たちの賢い言葉の中に共通する一つのことは、金銭的な物を超えた価値を大切にしなさいという訓告です。

人類の歴史の歩みを通じて、誠実性と富の獲得とが手を取り合って歩んだことはほとんどありません。人々が欲しい物を手に入れ、あるいはただ上流の生活を保つためだけに第一のものを犠牲にすることを正当化するのは、本当に驚くべきことです。

史上最も賢い男であるソロモンは、知識(何を知っていること)と知恵(真実なことを人生に応用すること)の間には大きな違いがあることを私たちに教えてくれます。私たちが自分たちの生活の質や水準を高めたいと思ったり、あるいはより賢くなりたいと努力する時、他のものを第一として、神様の導きに従わないなら、私たちは決して本当の意味での知恵を経験することはできません。

誠実さと、ゆるがない土台のような人格を持って生きることは、一見難しいことに見えるかもしれませんが。しかし、すばらしい愛にあふれ、柔軟であられる神様とすべての時間を共に過ごすというすばらしい恵みに比べれば、それらはほんの少しの代償にすぎないのです。

讃美歌 452

祈り 親愛なる主よ、私たちが日々を生きる時に、何がいつまでも残る、真実なものであるかという視点を持ち続けることができるように助けてください。私たちが何をすることも、あなたとあなたの導きを求めることができるように、知恵をお与えください。

イエス様の御名により。

アーメン

ランディー・ロバーツ  
ニューメキシコ州グランツ

1月5日(日)

## 求められなかった恵み

聖書朗読 箴言22:1-4

謙遜と、主を恐れることの報いは、富と誉れといのちである。箴言22:4

逆説は、箴言で頻繁に使われます。今日の聖書箇所最初の節は私たちに、名声は富よりも望ましいと語っています。(言い換えれば、私たちは富を望むべきではないということです。)しかし四節は私たちに、謙遜であり、主を恐れることのうちに生きることの報いは、私たちが求めるべきではないまさにその富だと語っています。

キリスト教は信じられないほど矛盾をはらんでいます。A・W・トーマズが言ったように、クリスチャンは「上るために下る。下ることを拒んだならすでに下っている、しかし下ることを始めた時、その人は上るところである。」パウロは私たちに、正しさを求めたユダヤ人はそれを見つけられなかったと語っています。それは代わりに、それを求めていないと思われていた異邦人によって見つけられました(ローマ9:30)。あるいはイエス様が言ったように、「いのちを救おうと思う者はそれを失い、わたしのためにいのちを失う者は、それを見出すのです。」(マタイ16:25)

私たちにとってはどちらでしょうか？ 私たちは、多くの人のように、いのちを求めますでしょうか？ それとも、主のように、命を投げ出すのでしょうか？

もっとも豊かな恵みは、それを求めなかった人々に与えられるということは、逆説的ですが、真実なのです。

讃美歌 525

祈り 私たちの聖なるお父様、どうか私たちをお赦してください。生理的欲求を握りしめる私たちを赦し、洗い清めてください。私たちが自ら手を延ばすより、むしろあなたが恵みを与えてくださることを信じることを教えてください。握りしめることなく、むしろご自分を無にされる方の御名によって、私たちは願います。

アーメン

サイヤー・サリスベリー  
オハイオ州トレド